

70周年 感謝!

# 滋賀県社会福祉協議会 70周年特別企画 ひたすらなるつながりフォーラム



## 水俣を知り 共に生きるを考える フォーラム

参加費  
無料

皆さんは水俣を知っていますか？水俣病が公式確認されてから66年が経過した今、差別や偏見、そして社会的に不利な立場にある方々を排除する風潮がなぜ発生したのかを正しく知り、改めて「共に生きる」意味について考えることを目的として当フォーラムを開催いたします。

差別や排除などの風潮は、現代のコロナ禍においても社会問題となっています。社会が困難に直面する今だからこそ、「共に生きる」ことについて皆さまと考え、「ひたすらなるつながり」の想いを共有させていただければと存じます。ぜひご参加ください。

日時

令和4年 5月 20日 金  
14:00-16:00

場所

ピアザ淡海 2階ピアザホール  
(大津市におの浜1-1-20)

第1部  
講演

14:10-15:10

「今、水俣からつながる思い」  
講師 上野 真実子氏

第2部  
鼎談

15:20-16:00

「共に生きる」  
上野 真実子 × 丸山 英明 ×  
渡邊 光春  
コーディネーター:金子 秀明



▼1994年に、川本輝夫氏により建立されたお地蔵さま。



▼お地蔵さまは、水俣病発生の原点「百間排水口」を見つめる場所に建立されている。水俣病を許さない孤高さを保ちながら、地域の人たちからも大切にされている。

### ■水俣病とは…？

工場排水中のメチル水銀に汚染された魚や貝などを多く食べることにより起こるメチル水銀中毒。昭和31年に熊本県水俣市で公式確認され、昭和43年に国がチッソ株式会社による公害病と認めました。手足の痺れやふるえ、脱力、動きがぎこちなくなる等、様々な症状を引き起こす病気です。

主催:滋賀県社会福祉協議会

後援:滋賀県市町社会福祉協議会会長会、滋賀県民生委員児童委員協議会連合会、滋賀県老人福祉施設協議会、滋賀県社会福祉法人経営者協議会、滋賀県児童成人福祉施設協議会、淡海フィランソロピーネット(予定)

# 参加申込書

申込期限

5/13(金)

参加をご希望の方は、以下についてご記入いただき、メールもしくはFAXにて下記申込先までお申し込みください。

所属	
氏名(ふりがな)	
住所	
E-mail	
電話番号	
備考	車いすのご利用、介添者の同伴、手話通訳等を希望される場合はご記入ください。

## お申込み

FAX 077-567-3923

MAIL soumu@shigashakyo.jp

## 会場アクセス

- JR大津駅から京阪・近江バス  
[草津駅西口行]または  
[石山駅行]  
「大津署前」下車 約10分
- JR大津駅からタクシー約5分  
※お車でのお越しの方はびわ湖ホールの  
駐車場をご利用ください。(有料)



## 講師および鼎談者紹介

**上野 真実子(うえの まみこ) さん**

発達支援ルーム ここすてっぷ水俣 施設長

元チッソ水俣病患者連盟委員長 川本輝夫氏の長女であり、令和3年5月に患者家族を代表して「祈りの言葉」を捧げた。特措法により平成23年に「水俣病被害者手帳」を取得。

小学校教諭を経て、児童発達支援事業所「発達支援ルーム ここすてっぷ水俣」で療育に従事。



**丸山 英明(まるやま ひであき) さん**

滋賀県 健康医療福祉部 次長

昭和61年 滋賀県庁入職。平成31年、障害福祉課長として、全ての県民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指す「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」(平成31年4月1日施行)の策定に尽力。

**渡邊 光春(わたなべ みつはる)**

滋賀県社会福祉協議会 会長

平成25年より現職。「滋賀の縁創造実践センター」発起人であり代表理事(平成26年～30年度)。その理念と実践を県社協へと継承する際、「この法人が目指す地域福祉とは誰もが「おめでとう」と誕生を祝福され、「ありがとう」と看取られる共生社会であり、その実現のため「ひたすらなるつながり」の理念のもと、不断の地域福祉実践を行う」と定款に明記した。

## コーディネーター紹介

**金子 秀明(かねこ ひであき)**

社会福祉法人 さわらび福祉会 理事長、滋賀県社会福祉協議会 理事

1984年さわらび共同作業所入職。現在は甲賀市・湖南市で障害者の通所事業や、相談支援事業、グループホームの運営を行う。精神障害者の地域生活支援、ひきこもりの方々への支援等、相談支援を中心に活動。